

事務事業名		基石ラベンダーまつり運営事業		<input type="checkbox"/> 実施計画登載事業		<input type="checkbox"/> 総合戦略登載事業				
政策体系	政策名	011 豊かな市民生活を実現する産業の振興		事業期間		予算科目				
	施策名	033 にぎわいあふれる商業・観光の推進				会計	款	項	目	事業
	基本事業名	033 観光宣伝の充実				01	06	01	03	25
根拠法令				<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始 平成22 年度～) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 【計画期間】 年度～ 年度 ※全体計画欄の総投入量を記入		事務事業区分				
所属	部課名	農林水産部 農林課				A 政策事業 B 施設整備				
	課長名	大和田 達也				C 施設管理 D 補助金等				
	係名	農政係	電話 27-3111			E 一般(A~D以外)				
	担当者	松川 直文	内線 344							
事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)				全体計画(※期間限定複数年度のみ)						
ラベンダーの摘み取り会の実施(以前は基石海岸ラベンダーまつり実行委員会によるラベンダーまつりとして実施。市も実行委員となっていた。)とラベンダー園を適正に維持管理する。 事業費は、ラベンダーまつりの委託料、ラベンダー畑の敷地借上料、ラベンダー畑倉庫の電気使用料に使用。 令和2年は、市が関与した実行委員会型式なによるラベンダーの摘み取り会の最終年度となった。 令和3年度中にこれまで使用していた倉庫を撤去し、関連事業の一切を終えた。				総投入量(千円) 事業費 財源内訳 国庫支出金 都道府県支出金 地方債 その他 一般財源 事業費計(A) 0 正規職員従事人数 延べ業務時間 人件費計(B) 0 トータルコスト(A)+(B) 0						

1 現状把握の部(DO)

(1) 事務事業の目的と指標		⑤ 活動指標(事務事業の活動量を表す指標)	
① 手段(主な活動)		名称	
前年度実績(前年度に行った主な活動)		単位	
ラベンダー畑内の建屋の撤去に係る補償金の支払い。		ア	実行委員会開催数
今年度計画(今年度に計画している主な活動)		イ	
令和3年度をもって、市の金銭的関与は終了		ウ	
② 対象(誰、何を対象にしているのか)* 人や自然資源等		⑥ 対象指標(対象の大きさを表す指標)	
(直接の対象) 基石海岸ラベンダーまつり実行委員会		名称	
(間接の対象) ラベンダー畑来場者(市民、観光客)		単位	
		カ	実行委員会構成団体数
③ 意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)		キ	
・円滑に事業を運営してもらう。		ク	
④ 結果(基本事業の意図: 上位の基本事業にどのように貢献するのか)		⑦ 成果指標(対象における意図の達成度を表す指標)	
・大船渡市を訪れる。		名称	
		単位	
		サ	市主催の摘み取り会来場者数
		シ	人
		ス	

(2) 総事業費・指標等の推移								
		年度	2年度(実績)	3年度(実績)	4年度(目標)	5年度(目標)	6年度(目標)	7年度(目標)
投入量	事業費	単位						
		国庫支出金	千円					
		都道府県支出金	千円					
		地方債	千円					
		その他	千円					
	人件費	一般財源	千円	534	1,010			
		事業費計(A)	千円	534	1,010	0	0	0
		正規職員従事人数	人	1	1	1		
		延べ業務時間	時間	112	50	2		
		人件費計(B)	千円	448	200	8	0	0
トータルコスト(A)+(B)		千円	982	1,210	8	0	0	
⑤ 活動指標		ア	1	0	-	-	-	
		イ						
		ウ						
⑥ 対象指標		カ	-	-	-	-	-	
		キ						
		ク						
⑦ 成果指標		サ	260	0	-	-	-	
		シ						
		ス						

事務事業ID	1409	事務事業名	基石ラベンダーまつり運営事業
--------	------	-------	----------------

(3) 事務事業の環境変化・住民意見等

① この事務事業を開始したきっかけは何か？いつ頃どんな経緯で開始されたのか？
平成21年に末崎町三十刈住民で設立した「基石ハーブ研究会」が解散することとなり、ラベンダー畑の管理及びラベンダーまつりの運営をとりやめることとなった。ラベンダーは、市にとって夏の貴重な観光資源であり、10数年間継続して行ってきたラベンダーまつりにおいては、観光客誘致や地域の活性化に寄与してきたことから、市で管理運営を請け負うこととなった。

② 事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)は、開始時期あるいは後期基本計画策定時と比べてどう変わったのか？
・市は、「基石ラベンダー研究会」が主催していた「基石海岸ラベンダー摘み取り会」を引継ぎ、実施してきたが、人件費や維持管理費が高騰している。
・令和2年度の摘み取り会を最終回とし、苗の譲渡会を実施。令和3年度中に、倉庫を撤去し、関連事業を終了する。

③ この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか？
・ラベンダー摘み取り会を継続して欲しいという声がある。

2 評価の部(SEE) * 原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価

目的 妥当性 評価	① 政策体系との整合性 この事務事業の目的は当市の政策体系に結びつくか？意図することが結果に結びついているか？	<input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 結びついている ⇒【理由】 ラベンダーの摘み取り会を開催するものの、基石海岸周辺観光客増、産業振興に繋がっていない。
	② 公共関与の妥当性 なぜこの事業を当市が行わなければならないのか？税金を投入して、達成する目的か？	<input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 妥当である ⇒【理由】 基石海岸周辺の観光客数増に繋がると思われていたが、大きな効果がないため、公費を投じた運営は見直す必要がある。
	③ 対象・意図の妥当性 対象を限定・追加すべきか？意図を限定・拡充すべきか？	<input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 適切である ⇒【理由】 観光客増、産業振興を目的として行われていたが、当該事業による目的達成は難しいことから、今後のあり方について検討が必要。
有効性 評価	④ 成果の向上余地 成果を向上させる余地はあるか？成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか？何が原因で成果向上が期待できないのか？	<input type="checkbox"/> 向上余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がない ⇒【理由】 年に1度のイベントを実施するものの、参加者は限定的であり、周辺への観光客数増の影響も少なく、今後の成果向上が期待できない。
	⑤ 廃止・休止の成果への影響 事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？	<input checked="" type="checkbox"/> 影響無 ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 影響有 ⇒【その内容】 愛好家からの存続の声が出る可能性はあるが、観光客数や産業振興への大きな影響は少ないと思われる。
効率性 評価	⑥ 事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 事業継続のためには、維持管理費が必要となることから、当該事業による成果が見込まれないようであれば、削減を考える必要がある。
	⑦ 人件費(延べ業務時間)の削減余地 やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか？成果を下げずに正職員以外の職員や委託でできないか？(アウトソーシングなど)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 「基石ハーブ研究会」から事業を引継ぎ、市がラベンダー畑を維持管理してきた。維持管理には専門性が必要であるため、自前での維持管理は難しく外部委託してきたが、人件費の大幅な高騰などの理由から委託費用が増加傾向であり、今年度以降の費用については、検討が必要。
公平性 評価	⑧ 受益機会・費用負担の適正化余地 事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由】 受益者負担が伴わない事業である。

3 今後の方向性(次年度計画と予算への反映)(PLAN)

(1) 改革改善の方向性	実行委員会は解散し、個人がラベンダーの摘み取り会を主催している。ラベンダー植栽地の返地も終了しており、市が設置していた工作物の撤去も完了したことから、市主催のラベンダーまつりは、廃止した。	(2) 改革・改善による期待成果																			
1 現状維持 2 改革改善(縮小・統合含む) ③ 終了・廃止・休止		左記(1)の改革改善を実施した場合に期待できる成果について該当欄に「●」を記入する。(終了・廃止・休止の場合は記入不要)																			
(3) 改革改善を実現する上で解決すべき課題とその解決策又は特記事項等		<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">成果</th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </tbody> </table>	成果	コスト			削減	維持	増加	向上				維持			×	低下		×	×
成果	コスト																				
	削減	維持	増加																		
向上																					
維持			×																		
低下		×	×																		

4 課長等意見

(1) 今後の方向性	(2) 全体総括・今後の改革改善の内容
1 現状維持 2 改革改善(縮小・統合含む) ③ 終了・廃止・休止	ラベンダー畑の管理運営する団体ができたので本事業は終了とする。